

未来へつながる通信

vol.112

発行：令和4年11月30日 袋井市教育委員会

地元企業の支援を受けて授業を実施

～山名小5年生がソフトボール投げの方法を学ぶ～



地域との連携

【選手からボール投げの基本動作を教わる】



【指導されたことを基に、練習に取り組む】

11月25日に山名小学校の5年生が、地元企業 NECプラットフォームズのソフトボールチーム「レッドファルコンズ」の選手から、体育の指導を受けました。当チームは、日本女子ソフトボールリーグに所属するチーム。一流の選手から、ソフトボール投げの基本を教えていただきました。基本動作、投げる方向、ステップなど、段階的な指導があり、練習をしていくうち、ボールを遠くへ飛ばすことができるようになった子もいました。

子どもたちの外遊びが減ってしまった昨今、体力の維持・向上のため、体を動かすことが好きな子を少しでも増やしていく必要があります。今回の事業は、静岡県教育委員会の主催で行われましたが、学校教育を社会全体で支援していこうとするこうした取組が広がっています。

※学校応援市民ボランティアの登録は WEB サイト「ふくろい教育ドットコム」で行えます。 QR コードはコチラ →



「幼小中つながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

